

製品名: Hsp105 (1A1) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe12238**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:100-1:200,IP 1:10-1:100
分子量	97kDa

抗原情報

遺伝子名	HSPH1
別名	Antigen NY-CO-25; Heat shock protein 105 kDa; HS105; HSP105; HSP105A; HSP105B; HSP110; HSPH1;
遺伝子 ID	10808.0
SwissProt ID	Q92598
免疫原	ヒト Hsp105 の合成ペプチド

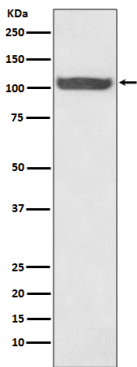
背景

HSP105 は、熱ショックタンパク質 70 ファミリーに属する分子シャペロンです。ATPase 活性を有します。哺乳類の脳で特に高発現しており、神経細胞のアポトーシスを抑制し、熱ショック後のタンパク質凝集を防ぐことが示されています。α-チューブリンやアンドロゲン受容体など、様々なタンパク質と相互作用することが知られています。シャペロンタンパク質 HSPA1A および HSPA1B のヌクレオチド交換因子 (NEF) として作用し、HSPA1A/B からの ADP 遊離を促進し、それによってクライアント/基質タンパク質の遊離を引き起こします (PubMed:24318877)。ATP レベルが著しく低下する重度のストレス下にある細胞において、変性タンパク質の凝集を防ぎます。HSPA8/HSC70 ATPase およびシャペロン活性を阻害します (類似性による)。

研究分野

-

画像データ



HeLa 細胞溶解物中の Hsp105 発現のウェスタン プロット分析。